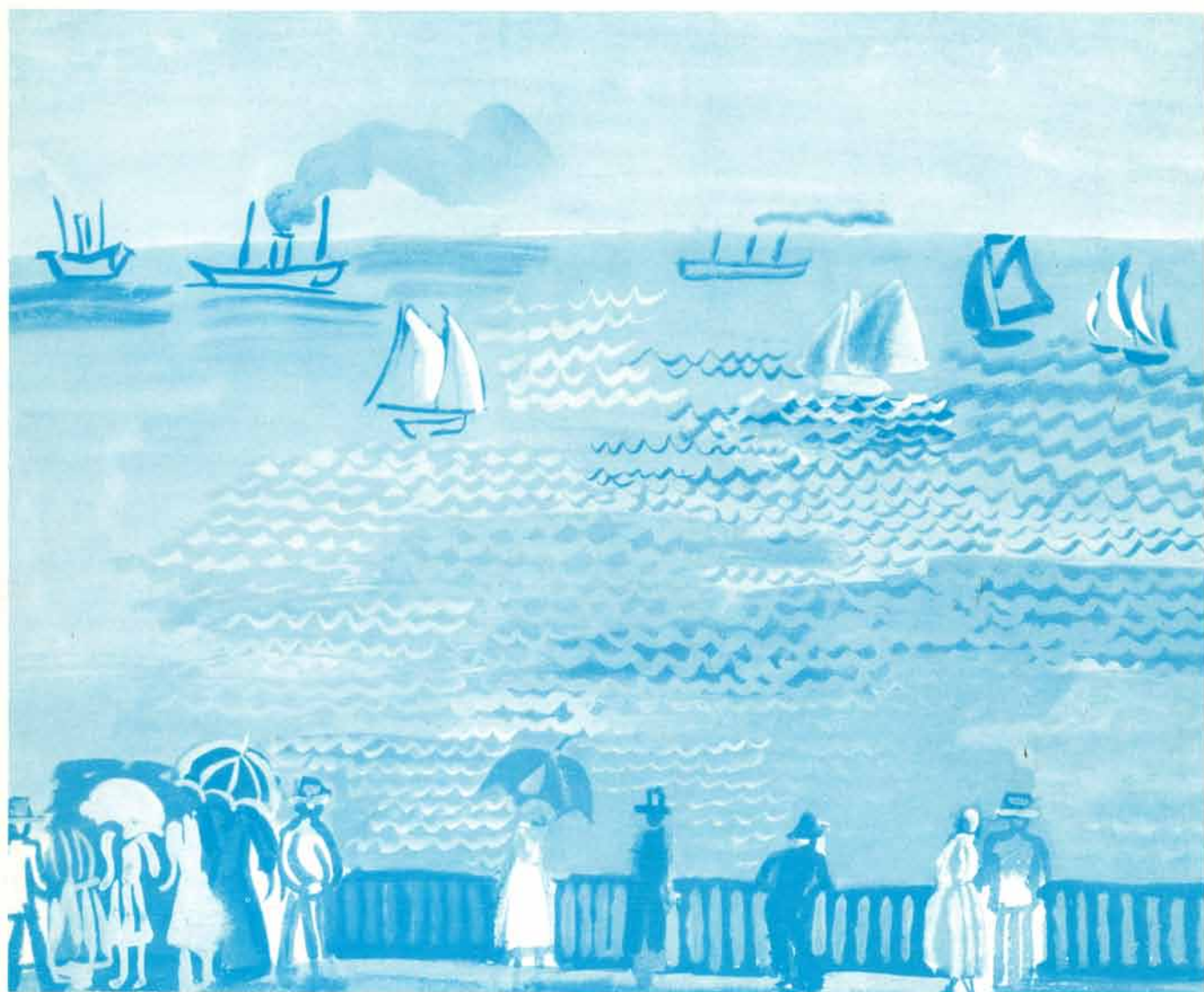


ヤマハボート28 69/4



GALLERY

ヤマハ美術館



アーブルの海 ラウル・デュフィ(1877~1953)

マチス、マルケなどと親交があつて、1905年のフォーブ(野獣派)運動に参加した。デュフィは画家としての出発はどちらかといえは遅く、生地のル・アーブルでコーヒー店員として働きながら市立の美術学校に夜通っていました。1900年には市から奨学金をもらいバりに遊学し画家への道へ進むことになったのです。はじめはいろいろな画風をたどりましたが、第一次大戦後、南フランスのバンスに居をかまえてからは、デュフィ独自の明るい画風を完成しました。特に水彩画にすぐれたものが多く、独特の筆致の海の風景はデュフィならではのものだといわれています。

釣って泳いで食べた夏の記録
'69ファミリーボートینگアルバム



大型クラスの新艇の発表があいつぎ、全国的に大型クルージングがさかんになってきました。楽しみ方もひところのただ走るということから、釣ったり、もぐったり喰べたりと多彩になってきました。この夏は、東でも西でも日曜ごとにクルージングが開かれるといった盛況でしたが、そのなかでも大規模なものをご紹介します。

富津岬焼とりクルージング



横浜(有)平野ボート主催でおこなわれた富津岬クルージングは、東京湾横断約一時間の行程、走るより着いてからの喰べたり飲んだりに重点を置いたファミリーボートینگ。メインイベントはヤキトリ、その他etc家族そろって楽しい二日をすごしました。



子供たちに大人気の西瓜割り
惜しい一撃に見物はだよろこび



オオこれぞ紳士のかがみ 騎士道ではない
ヤマハボートマンシップであります

期 日：7月27日
主 催：横浜(有)平野ボート
参加艇：20艇
人 員：100名
日 程：AM 8:00 平野ボート出発
9:00 富津岬着
焼とりパーティー
水上スキー
魚釣り
スイカ割りetc.
PM 4:30 富津岬出発
5:30 平野ボート着解散

(ハイ、おかわり。いつもこんなにたべるわけじゃないわ)



人もサッソウ、ボートもサッソウ。ストライプ20クルーザー群

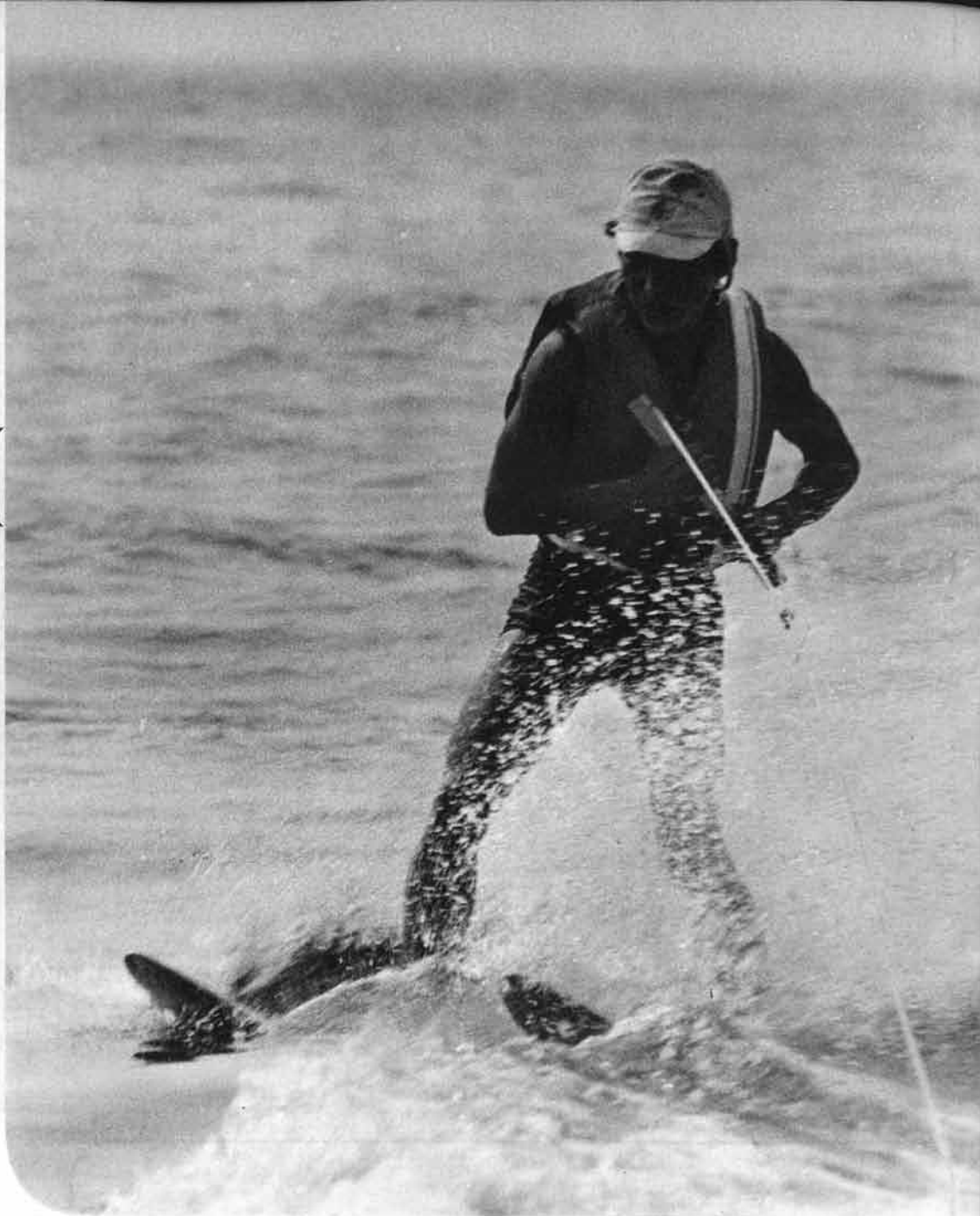




キビキビした作業ぶりをみせました

ルーピング

進軍ラッパとともに羽田沖を出発した十艇のボートは黒潮洗う伊豆大島へ向って疾走。途中三浦岬の城ヶ島で昼食ののち午後二時大島元町港着。宿では活づくりのヤマハ丸の



水上滑走訓練開始 曳航索ヨシ 滑走板ヨシ 発進
 帝国海軍の伝統をつたえる戦斗帽のカッコよさ



昔とった杵柄で太平洋に進軍ラッパをひびかせました 目標大島 ワレニツツケ

活きづくりのヤマハ丸に海の幸満載 全員の食欲を満たしました

期 日：7月25日～26日
 主 催：(有)城南モーターボート
 参加艇：10艇
 人 員：30名
 日 程：
 第1日 7/25 AM 7:00 城南マリン出発
 7:30 羽田沖で集合
 12:00 城ヶ島昼食
 PM 2:00 大島元町港着
 └ 島内一周見学 燃料補給
 PM 6:00
 6:30 ホテル椿園着
 第2日 7/26 AM 7:00 起床
 └ 水上スキーetc.
 10:00
 10:30 元町港出発
 12:00 城ヶ島 昼食
 └
 PM 8:00 城南マリン着解散





逆光の中を行くヤマハ 静かでも 波が高くて クルージングは爽快な楽しさをタップリ味わえます



寄港地では海軍仕込みの

大島ク

歓迎をうけて全員
大満腹、太平洋上
の爽快な水上スキ
ーなど楽しんで帰
途につき、本格的
なクルージングを
楽しみました。



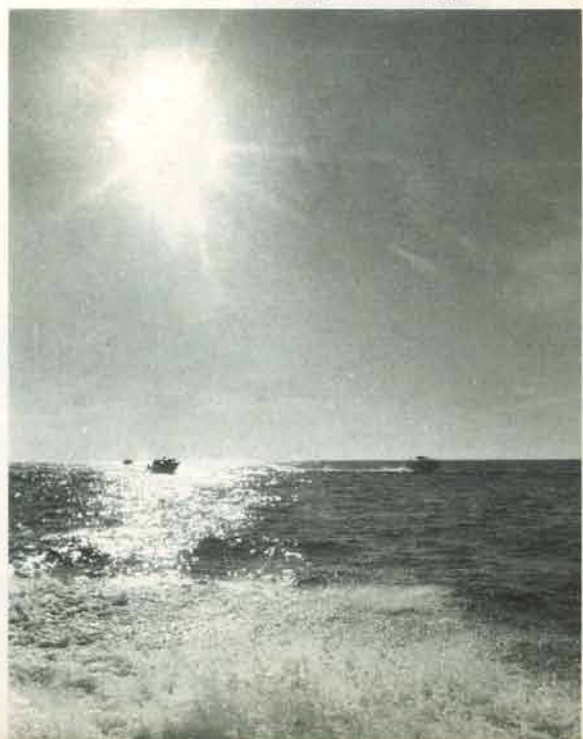


真珠いかだのそばにポイントを見つけたフィッシャーマン12の フィッシャーマンたち

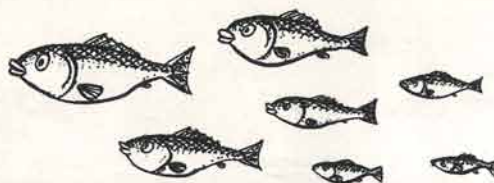
竿などなくても脚線美で魚をつろうという作戦 魚も審美眼のある証拠です



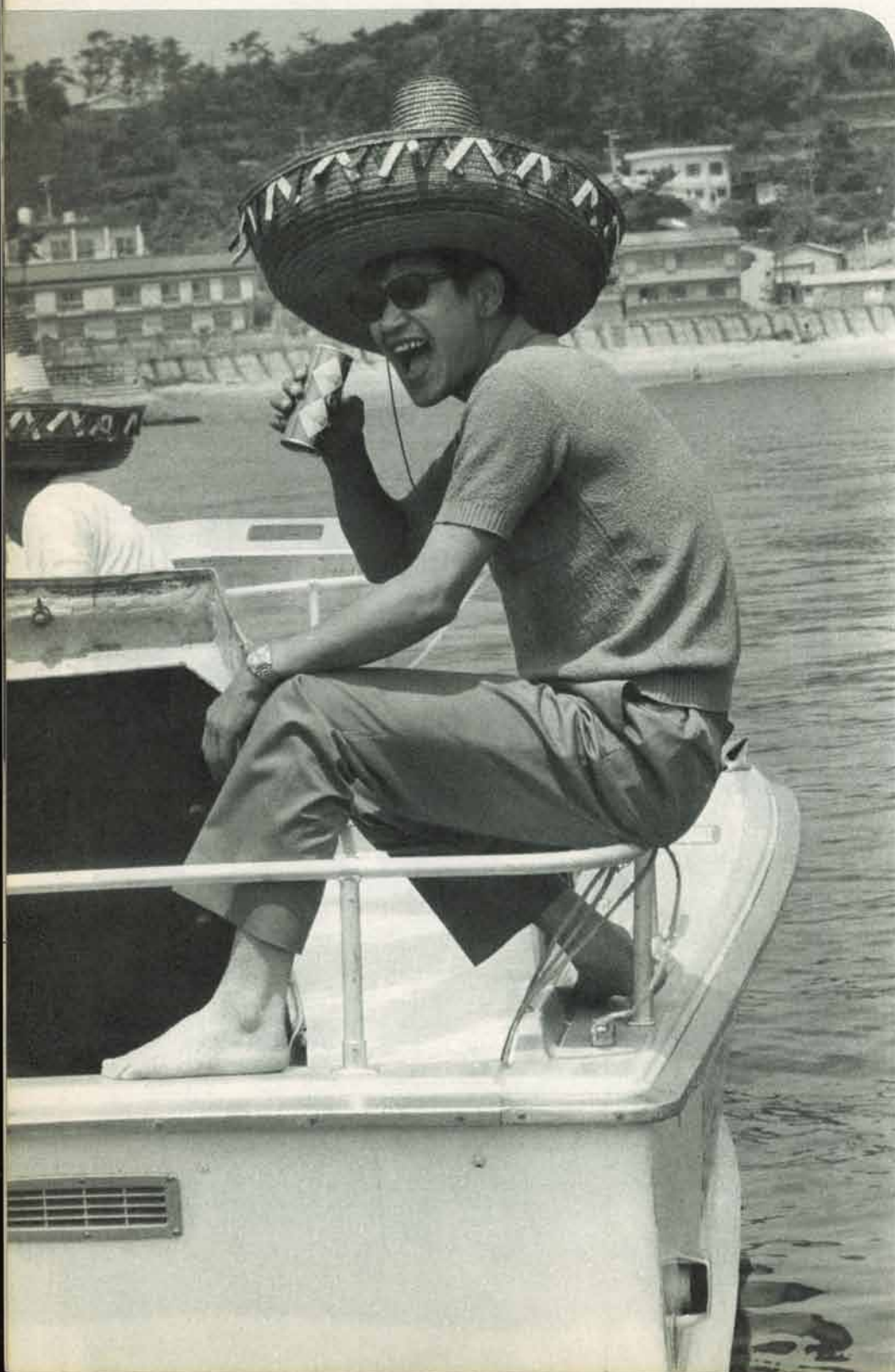
南国の太陽のもとに行くヤマハ艦隊



ねむさと 鳥羽合歓の里クルージング



ヤマハミュージックキャンプのある鳥羽合歓の里はボーディングの基地としても最高の環境、静かな水面は水上スキーに好適。豊富な海の幸で食欲の方も満点だ。名古屋方面からは約三時間の行程と手頃な距離のため、このところボートマンの来訪も多いとか。女性にとっては、真珠のふるさとが男性にとっては海女の働きぶりが見られる楽しいところだ。



逃がした魚は大きいが 釣った魚は小さいもの でもこのくらいがいちばん美味しいです

ソンブレロのヤマハ・ロス・ストライプス 釣りはあきらめて ミュージックキャンプに行つてうたつてくるか

期 日：8月2日～3日
 主 催：(ヤマハ発動機)名古屋支店ポート課
 参加艇：11艇
 人 員：50名
 日 程：
 第1日 8/2 AM 9:30 西浦マリーナ発
 }
 12:30 合歓の里着
 } 釣り大会・水上スキー
 PM 5:00 ホテル合歓着
 } 表彰式etc.
 9:00
 第2日 8/3 AM 9:00 合歓の里発
 }
 12:00 鳥羽ホテル昼食
 }
 PM 4:00 西浦マリーナ着



大型艇ばかり7隻 参加36名全員が元気いっぱい 航程約1千キロを6日間で楽しく完全走破した

四国一周クルージング

四国一周五泊六日
太平洋の荒波と、瀬戸内海の静かな水面の組み合わせがあじわえる、本格クルージングに最高のコースです。とくに太平洋岸は陸からは不便なところもあり、ボートでなくては行けない秘境がまだまだ多いところです。

期 日：8月12日～17日

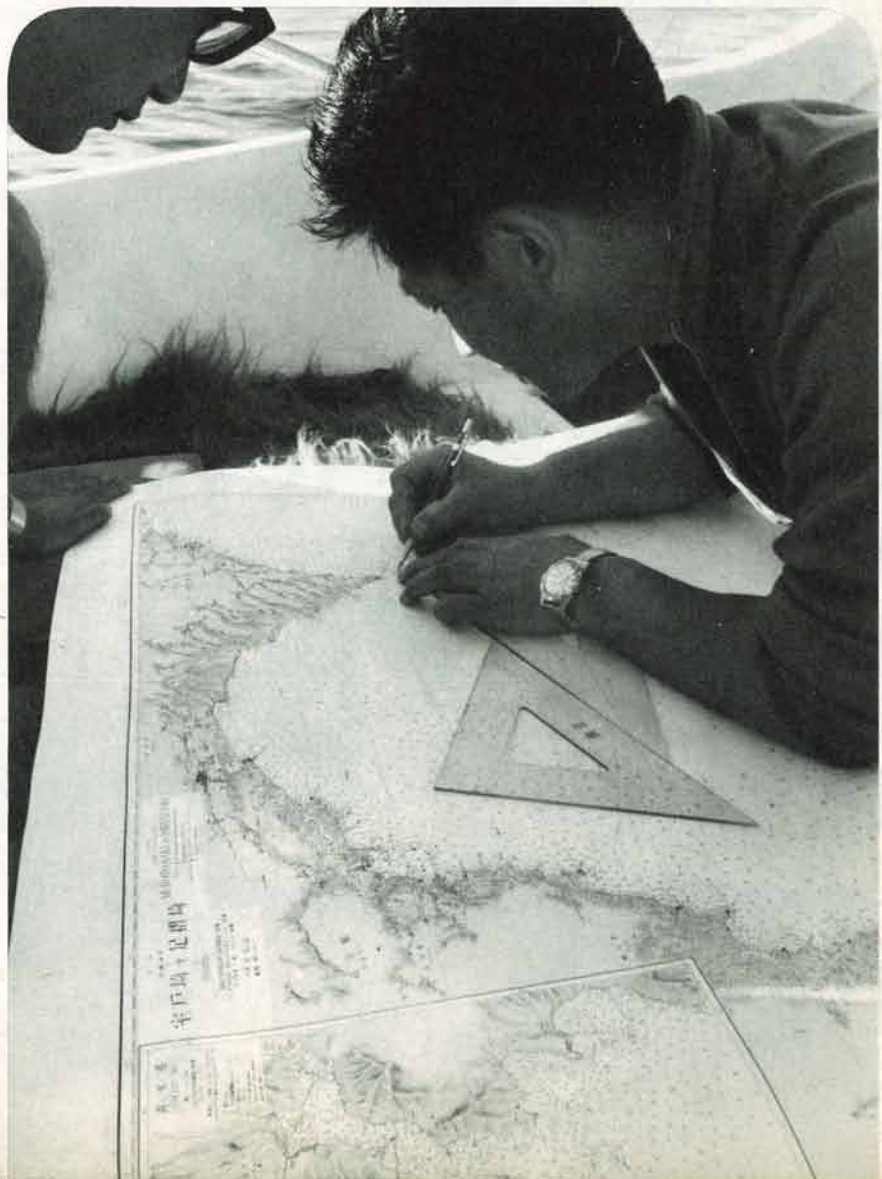
主 催：(ヤマハ発動機)大阪支店ポート課

参加艇：7艇

人 員：36名

日 程：

- 第1日 AM 8:00 西宮、貝塚、須磨マリーナを各々出発
12:00 大島で海ゾク料理の昼食
} 水上スキー、アクアラングetc
PM 4:00 甲之浦港着
6:00
- 第2日 AM 5:00 甲之浦港出発……
} 室戸岬、足ズリ岬を経て……
PM 1:00 龍串港中泊着
} 海底公園、水上スキーetc.
PM 6:00 民宿泊
} この時間迄各自自由行動
釣り大会etc.
- 第3日 AM10:00 中泊出発
} 海上で昼食
PM 3:00 別府港着
} 水上スキーetc.
6:00 花菱ホテル着
- 第4日 AM 9:00 別府港出発
} 佐田岬を経て
12:00 松山 姫ヶ浜着
} 水上スキーetc.
PM 5:00 民宿
- 第5日 AM 9:00 姫ヶ浜出発
}
12:00 大三島着
} 水上スキー子供大会
釣り大会 etc…
PM 6:00 宿着
- 第6日 AM 6:00 大三島出発
}
12:00 高松マリーナで昼食
}
PM 5:00 西宮、貝塚、須磨各マリーナへ戻る…

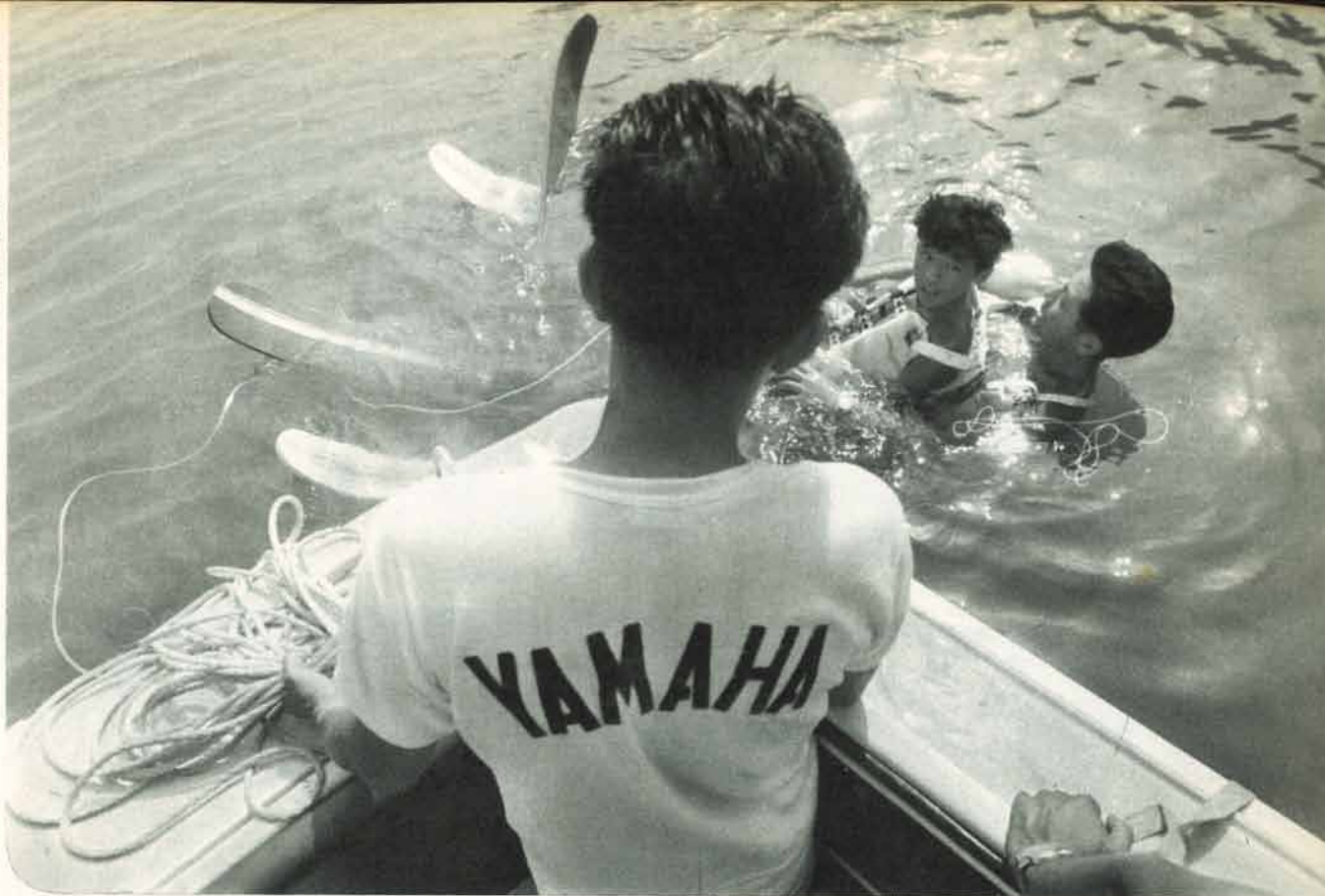


四国一周となると海図の数も十枚以上、航路の決定も慎重を期しておこなわれなくては迷子になりかねない

コースが本格派ならボートも25フィートオフショア
ボーツの本格派 ボーディングも大型になってきた



このクルーシング中に水上スキーマ
すっかり上達



海の神秘と海の幸を求めてスキング
イビング



〈吉山嶺〉

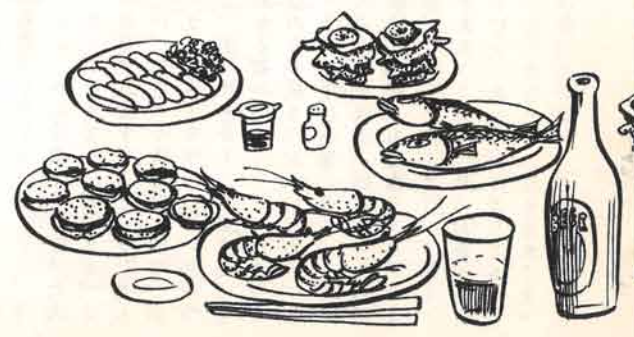


豪快に波を切ってすすむヤマハボート群

夕やみの濃い入江にアンカーをうつ。
詩情あふれるひとときだ。



ヤマハストライプ25クルーザーは魚師の人びとからも注目を浴びた



ますます盛況 水上スキー教室<館山寺>

今年で六回目をむかえた奥浜名湖館山寺の水上スキー教室に、これまでの最高約六百名の受講者が訪ずれました。とくに今年には東名開通の影響で遠方とくに東京や大阪方面から、浜名湖のきれいな空気を求めて多くの人が参加したようです。



一本スキーでスラロームができればもうベテランの仲間入り



こんなカワイコちゃんがいっぱい あなたもぜひどうぞいらしてください

明るい太陽のもと、海のスポーツマンたちの青春がある。



まずインストラクターの指導でスタートの姿勢をならめます



準備体操なんて学校卒業以来 どうもフォームがうまくいきません



いよいよ水上に出ます ソーサーの上でみんな胸がドキドキ



ボートの食事

走ったり、すべったり、泳いだりできるのもボートイングの楽しみだが、食べることも忘れてはいけないイベント。腹がふくれればいいといった考え方は、せつかくの青い空と潮風の食堂もだいなし。もちろん、海の上なら何を食ってもうまいにはちがいないのだ……。

アイスボックスで楽しさ倍増

海の強い陽ざしの中でよく冷えた飲物や果物は最高のフレッシュメント。キャビンにレンジから冷蔵庫まで揃った大型クルーザーでなくても、アイスボックスを一つ用意すればすむこと。ぜひとも用意したい。なるべく大きなもので、釣道具用のカバーや吊りひものついたやつでなくて、ポリスチロールで出来ていることがわかる裸のもので十分。円筒型より、角型の方が納まりがいいだろう。自動車のドライブ用品売場にある。千円から二千円のものも適当。氷を四キロ程度入れておけば、帰りの獲物を入れてくるにも充分。日帰りのボートイングなら、このアイスボックスに、熱いお茶を入れたマホービン、あとはおにぎりでもあればOK。もしとりたての魚を海水で洗ってオツに食べたいなら、ご婦人のために



水上スキー教室講師による鮮やかなピラミッド



試乗艇は釣舟の小型から大型まで、家族づれが多く楽しさいっぱいの試乗会だった



水の上を快走するモーターボートにこどもたちは歓声をあげた

ボートってこんなに楽しいの

新しいボートファンがふえた

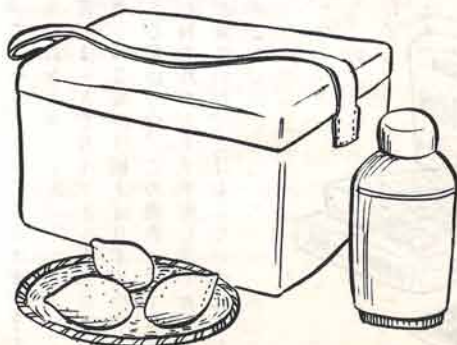
山中湖試乗会

一人でも多くの方にボートの楽しさ、便利さを知っていただくとうと、ヤマハではこの8月に山中湖で試乗会を開きました。参加した方はまだボートの楽しさをよくご存じない方ばかり、初めてモーターボートに乗るといふ人もかなり沢山いらっしゃいました。はじめこわごわだった女の方たちも、安全で快適なボートの魅力に、「こんなの一隻あると釣りなんかいいじゃない」と反対にご主人にすすめるといった奥様もあらわれるようなことでした。ヤマハ水上スキー講師陣によるデモンストラーションのトリックスキーに、皆いちようにかたんの声をあげたり楽しい一日をすごしました。



この日は水上スキーの指導もおこなわれ子供たちも一日でぐんと上達

レモンを用意しておこう。レモン汁をかけて酢の物にすれば、誰でも食べやすいから。



燃料を用意しよう

刺身や酢の物は苦手というなら、火を用意する。マッチさえあれば木を拾って火をおこせると考えるのは冒険小説の読みすぎ、そんなにおあつらえ向きの枯木がどこにでもあると思ったら大間違い。生木でもぬれた木でもボンボン燃えるほどにしたら熱くて魚を焼こうにも近づけない。火を小さくすればくすぶってしまつて、焼けた魚はケムくさくさなつてしまふ。生木でもあればよいが、最近では切つたりすると訴えられることになりかねない。そんなトラブルのタネをつくるのはやめて燃料は用意したいもの。キャンブ用品にガソリンバーナーや固型燃料があるが、これは直火で魚を焼くとき、下手すると燃料の匂いがつくこともあるから主に煮物に使おう。魚を焼くのに最高のものは木炭、デパートのバーベキュー用具の売場で、木炭一キロほど買い、他にプロックを五個ぐらい。それに焼き串を数本用意すれば万事OK。これで最高のバーベキューが楽しめる。炭は火をつ

皇太子・浩宮さま 今年も浜名湖へ

5日間、お召艇としてヤマハSTR-20-SCRが活躍

毎年、夏に浜名湖での水泳を楽しみにしていらつしやる浩宮さまと皇太子のお二人が、今年も奥浜名湖で五日間のパケイションを楽しみました。今回はご出産のため美智子さまはおみえになりませんでした。まはおみえになりませんでした。が、ぐんとたくましさを増された浩宮さまは水泳も一段と上達、もうおなじみの土地の人たちがその成長ぶりにおどろいていました。皇太子は最近一人乗リスカルに興味を持っておられて、今回もこの練習が一番の目的だったとのこと。

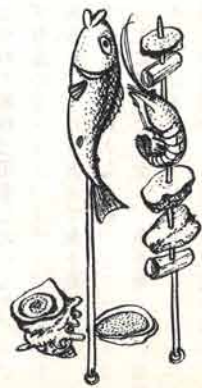
湖上の足となったヤマハの新艇STR-20-SCRに皇太子もご満足のようでした。



浩宮さまに土地の子供達は、たなばたの笹をおくり、心からの歓迎をした

乗船前、運転するヤマハ社員にも声をかけられる皇太子

けるのが面倒というのなら、ちよつと値がはるがプロパンバーナーが理想的。小型のボンベ付で携帯用のものが五千円ぐらいから。

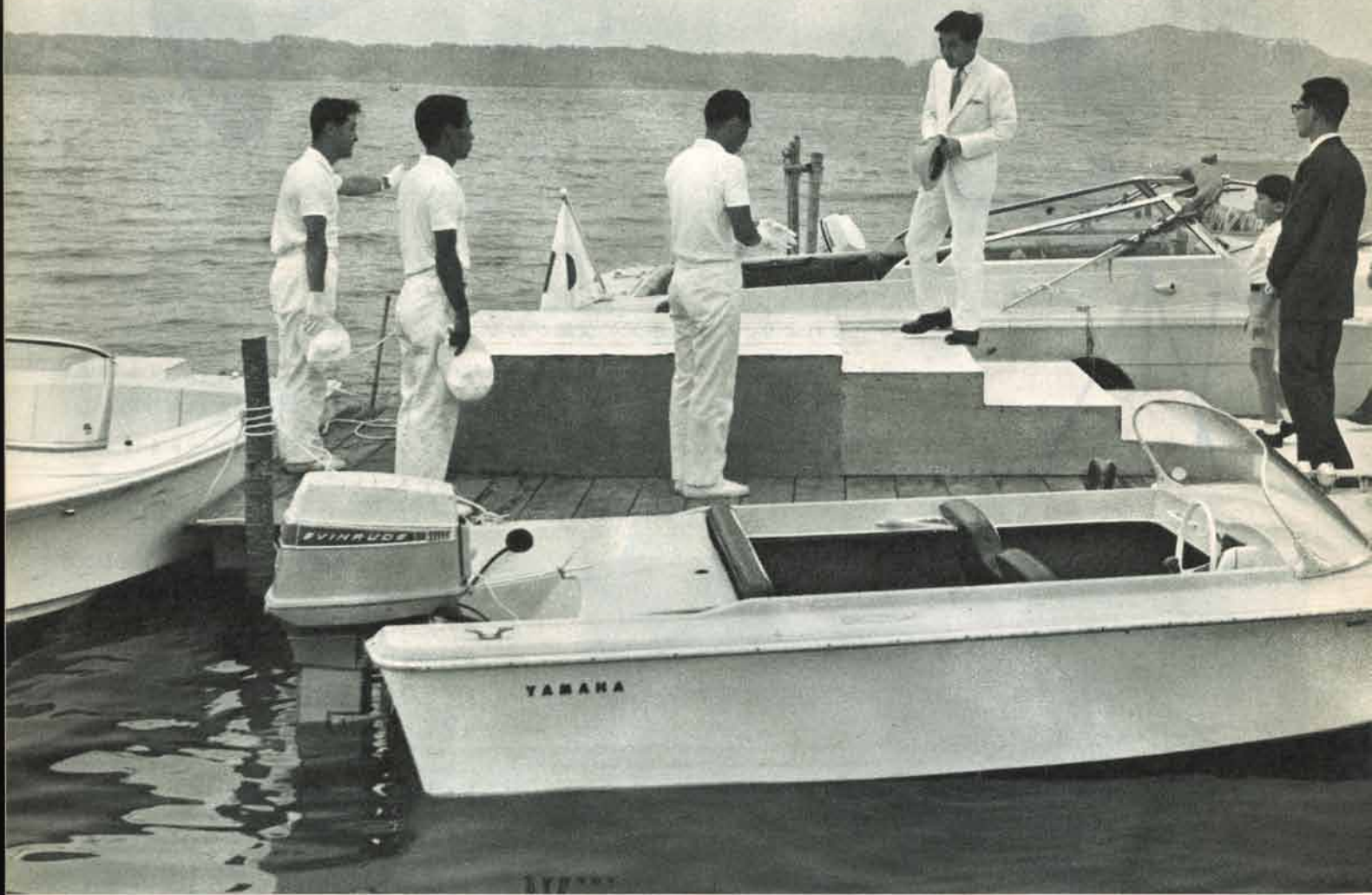


非常食の用意

一、二時間も沿岸を走れば、大きな町の港にあがれるのだから、食べ物はそのなを持たなくてもいいだろうなどと考えるようでは、キャブテンとしての心かげに欠けるところがあるというものだ。とくに海外に出る場合は、エンジントラブルで潮に流されることも考え、少なくとも三食分の非常食は用意しておこう。酒の入ったチョコレート、チーズ、ピーナツなど、カロリーの高い物を中心に、クラッカーなども用意する。要は、火も水もなしですぐ口に入るもの、身体にあたたまるものなど。おなじみのインスタントラーメンもいいが、最近ではスープが別になって、そのままかじるには味がうすくなったのが欠点。

真水は三人で五リットルもあればいいだろう。これだけ揃えば日本沿岸でならまず心配はない。この場合、ボートの帰港がおくれたらすぐ手配してくれる連絡係が陸にいないてはならないのはもちろんのこと。





清水マリーナオープン

静岡中東部で初の
本格ボート基地

オープン祝いの花環に
うまったクラブハウス

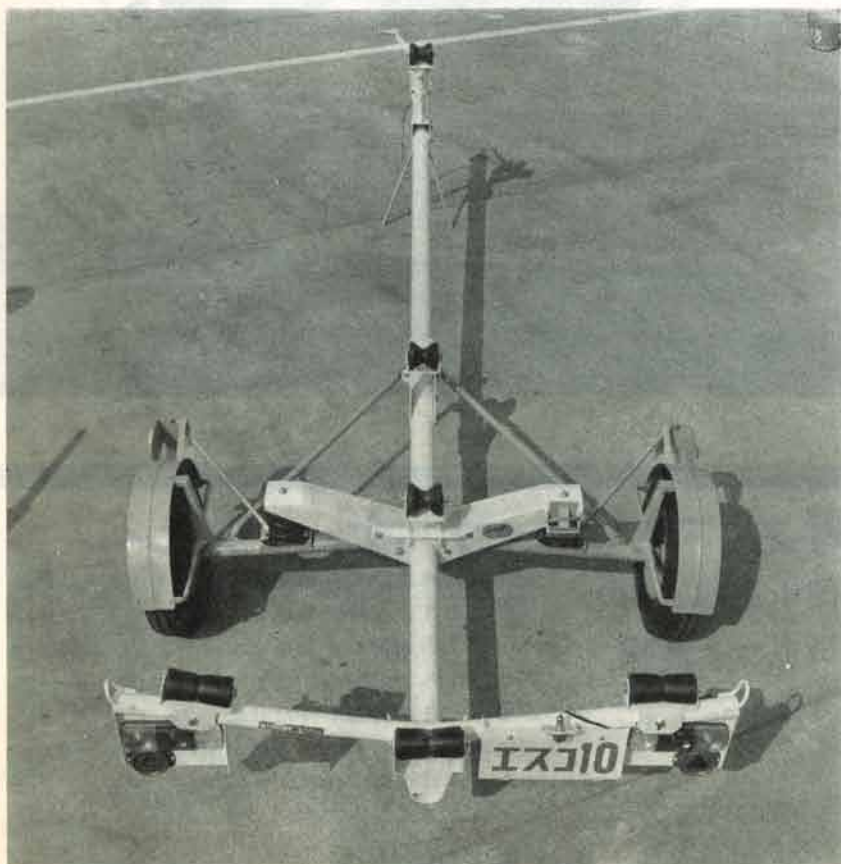
三保の松原を控える清水は、音にきこえた次郎長のふるさと。静岡県最大の貿易港であるこの港は、この地方でもっともボートینگのさかんなところですが、これまで本格的なマリーナがなく、その誕生が待たれていました。

この清水マリーナは、市内を流れる巴川べりにあり、収容艇数は40隻。クラブハウスもあり、これから清水に集まるボートマンの新しい社交場となりそうです。

トレーラーで ボートイングの楽しさを 広げてください



車につけたトレーラーに愛艇を乗せて、どこでも好きところでボートイングを楽しんでください。海でも川でも湖でも、どこでも、ボートで走れることも魅力ですが、それより、いつも手元に愛艇があるということが楽しいのです。シーズンオフなどには、庭先でボートをみがいてやるたのしみがふえるからです。しかし、道交法の規制をうけるこのトレーラーは、装備についてもいろいろ規定があつて安心して使えるものが少なかったのですが、このようなことなく安全にボートをはこんでいただくために、ヤマハでトレーラーを発売することになりました。



このトレーラーを運転するにあたっては次のことを覚えてください

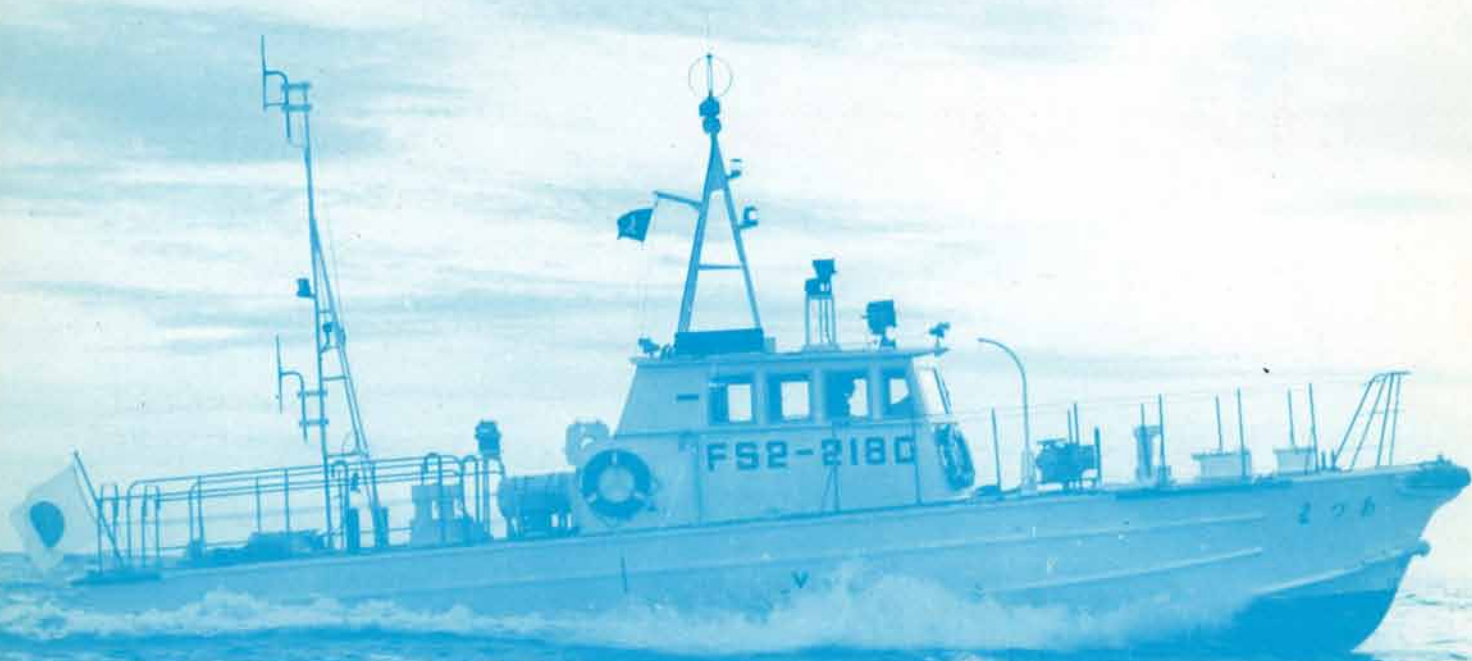
- 1 牽引免許は不要です
- 2 牽引速度は牽引する自動車に準じます
- 3 トレーラーに乗せたボートに人を乗せることは禁じられています
- 4 トレーラーの車検は毎年受けねばなりません
ボートをトレーラーで牽引するときつぎのことに注意してください。
 - 1 牽引する車にブレーキの倍力装置がない場合は、hidromaster等をつけてください
 - 2 ボートのトランサムに船外機をつけたまま牽引しないようにしてください
 - 3 カートップはなるべく避けて、小さなボートもトレーラーで運んでください
 - 4 ボートトレーラーについて疑問の点は、所轄の陸運局または陸運事務所に問い合せてください

福島県漁業指導船 あづま 進水

今年初頭進水した天竜丸につづいて、ヤマハ新居工場で、また大型の特需艇が進水しました。特需艇は、荒天波浪など、いかなる条件でも随時出動しなければならないのですから性能は非常に高度なものが要求されます。姉妹艇の天竜丸で専門家に注目された技術はすべて受けつがれ、さらにあらゆる面で向上された「あづま丸」は、いまからその活躍が期待されています。

スペック

全長……………15.5 m
全巾…………… 4.1 m
深さ…………… 2.0 m
総トン数……………26.0 t
機関………… 320 PS×2基
 (高速ディーゼル)
速力……………18kt



いこいのひととき（四国クルージングにて）



ヤマハボート28 69/4

発行＝昭和44年10月1日／発行所＝ヤマハ発動機株式会社（静岡県浜北市中条）／発行人＝渡瀬善三郎

ヤマハ発動機株式会社

本社	静岡県浜北市中条	05358-7-1111(代)
仙台支店	仙台市東四番丁54 仙台運送ビル内	0222-22-4141(代)
東京支店	東京都港区東新橋1の1の21今朝ビル	03-572-2021-9
名古屋支店	名古屋市北区辻本通2丁目34	052-911-2171(代)
大阪支店	大阪市西区北堀江通り4-27	06-538-7331(代)
四国支店	高松市田町11番地3 亀菱ビル2-2	0878-31-1661(代)
広島店	広島市東雲町3丁目16-8	0822-82-4111(代)
九州支店	福岡市比恵新町26	092-41-3606(代)
北海道駐在事務所	札幌市南五条東一丁目	0122-51-6141

ヤマハボート取扱店

